

保育総合研究会 2024年度

News7.5

NewVOL. **66**/2024.10.28  臨時号

(2020年度21号)(2021年度12号)(2022年度12号)

(2023年度12号)(2024年度9号)

発行人 保育総合研究会 会長 坂崎 隆浩

発行元 事務局長 社会福祉法人 聖心会

第2聖心保育園 園長 永田久史

〒574-0014 大阪府大東市寺川1-20-1

Tel 072-874-0981 Fax 072-874-0982

E-mail zenkichi@apricot.ocn.ne.jp

全国会員数 100名+α <http://hosouken.xii.jp/hskblog>

 緊急臨時号発行。25周年海外研修の第一次募集締切10/31です。

 今回の保総研 News は完全ドイツ&オーストリアの臨時号！！！！

日時決定 2025年5月15日(木)羽田9:50発～

～5月22日(木)羽田空港8時着(9日間)

場 所 ドイツ(シュトゥットガルト)&

オーストリア(ウィーン&ザルツブルク)



 次頁から

ツアーコンダクターの岡村さんからの資料に加え、坂崎が説明会にてお知らせした内容です。検討材料にしてもらえたら幸いです。

*下記スケジュールは諸事情により変更される場合がありますのでご了承ください。

保育総合研究会 25周年記念事業 海外研修

【9.23付】 TEL:080-3084-1484 岡村

ドイツとオーストリア 最低目標数(坂崎)30名 2025年5/15(木)羽田 9:50 発~5/22(木)羽田空港 8時着

0日目 2025年5月14日(水) 14:00~17:00 予定

令和7年度 保育総合研究会 総会及び海外研修事前打ち合わせ開催予定 東京都市ヶ谷私学会館

1日目 5月15日(木) 07:30

羽田空港第3 3階出発ロビー団体受付カウンター前集合 発 09:50

LH717 ルフトハンザ・ドイツ航空にて出発機 ・ロシア周りが出来ないので通常より3時間ほど多くかかります

地名ミュンヘン 着 17:00 専用車 着後、

地名ミュンヘン 発 19:20 LH2150 ルフトハンザ・ドイツ航空にて シュトゥットガルトへ

地名シュトゥットガルト 着 20:05

夜 ホテルレストランにて結団式(軽食) -シュトゥットガルト泊-

坂崎の簡単な解説

ドイツ・シュトゥットガルト

(ドイツ語: Stuttgart, [ˈʃtʊtɡart]) は、ドイツ連邦共和国・バーデン＝ヴュルテンベルク州の州都で、人口632,865人(2022年12月31日現在)を擁する同州最大の都市である。



2日目 5月16日(金) シュトゥットガルト 朝 専用車 視察へ

午前 保育施設訪問 地名 ショルンドルフ DUSYMA 訪問

午後 レストランにて昼食 昼

地名 デッティンゲン・アン・ディア・エルムス

午後 drechslerei BECK (NAEF 製造) 訪問

訪問後、ドイツ南部白鳥城へ (約 220km/2 時間 30 分)

地名 ホーエンシュバンガウ 夕刻 レストランにて夕食 ターホーエンシュバンガウ泊



坂崎の簡単な解説

「ドイツ Dusyma (デュシマ社)」

1925年に Kurt Schiffler (クルト・シフラー) 氏によって創業されたドイツの玩具・家具メーカーです。幼稚園用家具の老舗メーカーでもあるデュシマ社の家具はブナ材と合板を巧みに組み合わせた堅牢な作りと、シンプルで美しいデザインでヨーロッパの幼稚園に広く普及しています。創業以来の物作りの揺るぎない信念が感じられるシンプルで堅牢なデザインの製品は、日本の幼稚園にも普及しています



「ドイツ Naef ネフ社」

Naef (ネフ社) は、1954年に Kurt Naef (クルト・ネフ) さんによって創業したスイスの木のおもちゃメーカーです。当時は、インテリアや家具を製造していました。2012年9月に生産・流通拠点をスイスからドイツへ移し、2013年4月より、新たにドイツ製のネフ製品が出荷されるようになりました。生産に使用する機械もそのまま新しいドイツの工場に移し、素材・原料等も一切変えず、従来どおりの揺るぎないネフ製品として作り続けられています。本社はスイス・ツォフィンゲンの現在地にとどまり、生産・出荷以外の業務はすべてスイス本社で行っています。

「ドイツ ホーエンシュバンガウ」

ホーエンシュヴァンガウ（標準ドイツ語：Hohenschwangau）は、ドイツのバイエルン州シュヴァーベン行政管区のオストアルゴイ郡に属するフュッセン付近にあるシュヴァンガウの旧市街である。

当地はノイシュヴァンシュタイン城とホーエンシュヴァンガウ城の間にあり、毎年約 200 万人の旅行者が城の見学に訪れる。レストラン、迎賓館、ホテル、そして土産物店は周りの雰囲気にあった景観を作り出している。

ホーエンシュヴァンガウの近くにはアルプス湖がある。

一口メモ

この時期の気候 ザルツブルグ 5月平均 最高気温 19度 平均 14度 最低 9度

ウィーン 5月平均 最高気温 20度 平均 15度 最低 10度

3日目 5月17日(土) ホーエンシュバンガウ 朝 専用車 白鳥城へ

朝 シュバンガウ 08:30 白鳥城（ノイシュバンシュタイン城）見学

ヴィース ロココ様式のヴィースの巡礼教会見学

地名 テーゲルンゼー（夏の国際音楽祭で有名）

午後 レストランで昼食 昼

国境を越えてオーストリア・ザルツブルグへ（約 220 km/3 時間）

ザルツブルグ 夕刻 ホテル・レストランにて「保育総合研究会定例会」 夕食 -ザルツブルグ泊-



「保育総合研究会定例会」第86回特別定例会 IN ザルツブルク

現地 5/17(土) 18時予定 是非ともオンラインで日本にいる方も参加

日本 5/17(土) 25時 ☎ 5/18(日) 真夜中 1時 各自自宅等で参加

坂崎の簡単な解説

「ノイシュヴァンシュタイン/白鳥城」

この城は、王や騎士たちが活躍する時代が過ぎ去った1869年、第4代バイエルン王ルードヴィヒ2世の命により着工されました。そのルードヴィヒ2世が自分の描く理想的な世界として建てられたのがノイシュヴァンシュタインです。ちなみに、彼のファンタジー感を象徴するかのようになり、後にこの城はシンデレラ城や眠れる森の美女の城のモデルにもなったという説があります。ワーグナーの音楽に心酔していたルードヴィヒ2世は、そのオペラを上演するためだけに「歌人の間」を造りました。城内の至るところ、寝室や居室などにはそうしたオペラを象徴した壁画が描かれています。中でも「ローエングリン」や「パルジファル」が有名な作品として知られています。白鳥城とも呼ばれるこのノイシュヴァンシュタインですが、その名のとおり華麗で美しい佇まいでも知られています。そしてもっとも驚くのは、この城を建てたのは建築家ではなく、彼が愛してやまなかったオペラの舞台装置や美術を手掛ける画家だったこと！そのため、構造的なことよりも彼の描いていた世界観のほうが強く反映された城として、世に送り出されることになったのです。

「ドイツ ヴィースの巡礼教会」

「鞭打たれるキリスト」の像は、十字架にかけられたキリストの血を表す赤い柱と、神の恩寵を表す青い柱に囲まれ、自ら犠牲になり復活したキリストの象徴である子羊の像、キリストの献身を表すペリカンの像などが配された主祭壇に安置され、伝説の奇跡を今に伝えています。ヴィース（ドイツ語で草原）の名のごとく質素な佇まいの教会ですが、年間100万人もの巡礼者を迎え入れています。登録年1983年世界文化遺産

「オーストリア ザルツブルグ」

ザルツブルグ（ドイツ語：Salzburg[注1]）は、オーストリア中北部の都市で、同名のザルツブルグ州の州都である。ドイツ語で特に区別して表記する場合、ザルツブルグ市はStadt Salzburg、州はLand Salzburgとする。郡に属さない憲章都市（Statutarstadt）であるが、ザルツブルグ＝ウムゲブング郡（英語版、ドイツ語版）の郡庁が置かれている。ザルツは塩、ブルグは砦。モーツァルトの生誕地で25歳までいた。旧市街と歴史的建造物は、1996年ユネスコの世界遺産に「ザルツブルグ市街の歴史地区」として登録された。

4 日目 5月18日(日) ザルツブルグ 午前 専用車※ザルツブルグ市内視察

朝 ゲトライデガッセ、大学広場、祝祭劇場、大聖堂、レジデンツ広場、モーツァルト生家など

ザルツブルグ大聖堂オルガンコンサート

午後 湖畔のレストランでシーフードの昼食

昼 地名メルク 発 16:25 船 世界遺産ヴァッハウ渓谷ドナウクルーズ

地名 デュルンシュタイン 17:50 専用車 ウィーンへ

ウィーン 夜 ホテルチェックイン、夕食 ターウィーン泊

※「ザルツブルグ市内視察」 ☆見切れないので今回の解説には載せない。各自で調べて欲しい



坂崎の簡単な解説

「オーストリア メルク」

メルク(Melk)は、オーストリア・ニーダーエスターライヒ州のメルク郡にある基礎自治体(ゲマインデ)。ドナウ川沿いのヴァッハウ渓谷に隣接した場所に位置している。メルク修道院のある街として知られている。ヴァッハウ渓谷は中世の町や古城が彩るドナウ川随一の景勝地と呼ばれています。ドイツに源を発し約2,860kmを流れ黒海へと注ぐドナウ川。その一部であるオーストリアのヴァッハウ渓谷はドナウ川の要衝であり、キリスト教布教や十字軍遠征の道として発展しました。メルク〜クレムス間約35kmの両岸にはぶどう畑が広がり、河岸に建つ修道院や古城、そして中世からの町々が織り成す景観が世界文化遺産に登録されています。その類まれな景観を楽しむには、クルーズ船でゆっくりと船上から眺めるのが一番。断崖にそびえ船着場からも見えるメルク修道院は、高さ約65mの尖塔を持つ東西320mのバロック建築で、「横にのびた摩天楼」の別称も。図書室は約10万冊の蔵書を誇り、大広間の「大理石の間」はまるで宮殿のようです。フランスへ輿入れするマリー・アントワネットが一夜を過ごした逸話に思いを巡らせているうち、やがて右

岸に堅固な姿を現わすのはアックシュタイン城。おどろおどろしい伝説に彩られた盗賊騎士の城といわれます。そして左岸には、ぶどう畑に囲まれた中世の町デュルンシュタインが見えてきます。英国のリチャード王が幽閉されていた丘の上のクリエンガー城を眺めつつクレムスへ。市庁舎を中心に中世の面影が残るこの町はワインの産地。ぶどう栽培に適した気候や地形などに加え、修道士たちが来客をもてなすために作ったワインが名を馳せていきました。ヴァッハウ渓谷の景観は自然の美しさだけではありません。そこにまつわる人々の営みや歴史を知れば、船の旅がさらに印象的になることでしょう。

「オーストリア ウィーン」

ウィーン[注釈 1] (標準ドイツ語: Wien) は、オーストリアの首都。9つの連邦州のひとつで、都市州である。漢字による当て字では維納と表記される

2017年1月1日時点での人口は186万7582人。ヨーロッパ有数の世界都市である。第一次世界大戦までは、オーストリア＝ハンガリー帝国の首都として、ドイツ帝国を除く中東欧の大部分に君臨し、さらに19世紀後半までは神聖ローマ帝国やドイツ連邦を通じて、形式上はドイツ民族全体の帝都でもあった。クラシック音楽が盛んで、過去にモーツァルトやベートーヴェン、シューベルトなど、多くの作曲家が活躍したことから「音楽の都」・「楽都」とも呼ばれる

現在ウィーンの人口はおよそ195万人で欧州連合の5番目に大きな都市である。ウィーンは国際的な都市でおよそ70万人（およそウィーン人口40%）がオーストリア国籍を有していない



5 日目 5 月 19 日(月) ウィーン 朝 専用車 着後、視察へ

09:00 保育施設訪問 11:00 ウィーン日本人幼稚園訪問 昼

午後 聖シュテファン寺院見学

ウィーンの森のグリーンツインでベートーベン博物館見学

夕刻 ワイン酒場「ホイリゲ」で夕食 ターウィーン泊



坂崎の簡単な解説

「聖シュテファン寺院」

シュテファン大聖堂（独 Stephansdom）はオーストリアの首都ウィーンにあるゴシック様式の大聖堂。シュテファン寺院とも呼ばれ、ウィーンのシンボルでかつ観光名所のひとつである。この聖堂を含むリングと呼ばれるウィーン歴史地区は 2001 年にユネスコの世界遺産に登録された。ハプスブルク家の歴代君主の墓所であるほか、ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルトとコンスタンツェ・ウェーバーの結婚式が行われ、また葬儀も行われた。オーストリア公ルドルフ 4 世の命によって建造されたこの聖堂は、1359 年に 65 年がかりで南塔が完成。137 メートルの高さを持ち、教会の塔としてはウルム大聖堂（161 メートル）、ケルン大聖堂（157 メートル）について世界で 3 番目の高さがある。外観はゴシック様式で、内部の祭壇はバロック様式である。12 世紀から建造が始まったこの聖堂で最古のものは 13 世紀の後期ロマネスク正面入口の門である。第二次世界大戦では直接の爆撃は受けることはなかったが、延焼により南塔にあったプムメリンという大きな鐘が落下するなど大きなダメージを受け、戦後寄付などにより再建修復が行われている。

「ホイリゲ」

ホイリゲは、オーストリア東部に見られるワイン酒場。ワインの作り酒屋が自家製ワインを売る、というのが建前なのでビールなどはなく、料理も簡単な家庭料理をセルフ・サービス方式で頼むところが多い。ワインは主に白ワインで、ジョッキ型のグラスに入っている。肉の燻製、ピクルス、黒パン、ゆで卵、生のトマトなどが料理として出される。ホイリゲは酒場以外に、イギリスのパブのように社交場として機能も有している

6日目 5月20日(火)ウィーン 朝 専用車 ウィーン市内視察

朝 ナッシュマルクト市場、リング、国立歌劇場など

13:00 レストランにて昼食後、一旦ホテルへ 昼

タ刻 シェーンブルン宮殿コンサート鑑賞

その後、レストランにてさよならパーティー タ -ウィーン泊-



坂崎の簡単な解説

「ナッシュマルクト市場」

ウィーン最大のマーケット「ナッシュマルクト」を食べ歩く。

リングシュトラッセ（ドイツ語：Ringstraße）またはリング通りは、オーストリアの首都ウィーンを中心部にある環状道路。1857年に放棄された市壁と堀の跡に造られた。



「シェーンブルン宮殿」

シェーンブルン宮殿（シェーンブルンきゅうでん、ドイツ語：Schloss Schönbrunn）は、オーストリアの首都ウィーンにある宮殿。ハプスブルク王朝の歴代君主が、主に夏の離宮として使用した。現在、同宮殿と庭園群は世界遺産に登録されている。シェーンブルン宮殿はオーストリアで最も重要な観光資源とされ、年間入場数は150万人。さらに公園と動物園や行事での集客数520万人を合計すると、年間で670万人が訪れる。幼いモーツァルトがマリー・アントワネットに求婚したとされる「鏡の間」幅約175メートル、奥行き55メートルのバロック様式の外観の宮殿の中に、全部で1441室の部屋があり、約1000人もの侍従や使用人が住んでいた。彼らのために、139もの調理場があった[7]。部屋の多くは、ロココ様式で装飾されている。2009年現在、公開されているのはおよそ40室ほどにすぎない。正面右側翼には宮廷劇場がある。シェーンブルンの庭園は東西約1.2km、南北約1kmという広大な規模のフランス式庭園で、1779年頃から公開されオーストリアを代表する名園とされる。

7日目 5月21日(水) 06:00 専用車 空港へ 朝

ウィーン 発 09:05 LH2325 ルフトハンザ・ドイツ航空にてミュンヘンへ
ミュンヘン 着 10:05 乗り換え
ミュンヘン 発 12:40 LH714 ルフトハンザ・ドイツ航空にて帰国の途へ 機
ー機中泊ー

8日目 5月22日(木) 羽田空港第3 着 08:00 機

ご検討ください

